

記者配布資料

令和6年5月28日 10時

名古屋経済記者クラブ 各位

名古屋商工会議所
トヨタテクニカルディベロップメント(株)

フレイル予防カート開発における実証実験の実施について

名古屋商工会議所（以下名商）では、中期計画（2021-2025）の重点アクションである「実証実験・社会実験の取り組み」として、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（以下 TTDC）が取り組む「フレイル予防カート」の開発事業を支援しております。

今般、同事業が実証実験の段階へと進んだことから、名商の取り組みについてご報告するとともに、社会課題の解決の一助となる同事業の一層の推進に向け、当日の取材等へのご協力をお願い申し上げます。

1. 名商 実証実験・社会実験の取り組みの概要

※詳細は別紙1を参照

一事業者では取り組めない、または取り組みに限界がある社会課題の解決に向け、名商が仲介役となり、新技術や新商品、新サービスの開発などに取り組む事業者を実証実験・社会実験を通して支援することを目的に実施。

【主な取り組み内容】

- ① 部署横断の「実証実験・社会実験推進チーム」の組成
- ② 社会課題の解決策を有する事業者のアイデアの公募と選定
(公募総数 10 件の中から 1 事業者を選定)
- ③ 名商のネットワーク・リソースを活用した事業者への支援

2. 実施事業者（名商の支援事業者）及び実証実験の概要

※詳細は別紙2を参照

企業名：トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（TTDC）

社会課題：フレイル予防（健康増進、医療費抑制）

開発製品：フレイル予防カート（仮称）

実証実験：実際の商業店舗にて被験者（高齢の方）がカートを利用して買い物を実施

協力：イオンモール熱田（実施日：6/3、6/4）

名古屋三越・星ヶ丘店（実施日：6/7、6/11）

※当日、取材をする場合は、事前に下記名商担当者へご連絡ください。

【問合せ先】 [名商] 企画部 企画ユニット 担当：安江

TEL：052-223-5713 Email：yasue@nagoya-cci.or.jp

[TTDC] ハードウェア技術開発部 担当：水野

TEL：070-2235-4198 Email：yuichi.mizuno@mail.toyota-td.jp

以上

名商 実証実験・社会実験の取り組みについて

(1) 実証実験・社会実験の取り組み実施の背景

名商では、2021年に策定した5ヶ年の中期計画（2021-2025）に基づき事業を推進しており、一事業者では解決困難な社会課題について、名商が仲介役となり、解決策を有する企業のイノベーションを実証実験や社会実験を通して後押しすることで解決に繋げていく「社会課題解決アクション」を新たな取り組みとして掲げている。

実証実験・社会実験の取り組みは、「社会課題解決アクション」の具体的な実施事業の一つとして、重点アクションに位置づけている。

中期計画の詳細：<https://www.nagoya-cci.or.jp/meisho/chukei.html>

(2) 具体的な取り組み

2021年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部署横断のプロジェクトチーム（PT）の組成。PT会議を実施し取り組むべき社会課題を検討。 ・ メッセナゴヤにて社会課題やその解決アイデアの収集（約225件収集）。 ・ プロジェクトの公募（応募総数10件）。うち1件（TTDCフレイル予防）選定【※1】。 ・ TTDCへの伴走支援を開始。 	 <p>メッセナゴヤでのアイデア収集の様子</p>
2022年度 及び 2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTDCへの伴走支援の実施（ヒアリング調査先の仲介、デザインや試作、製造パートナーとのマッチング支援、実証実験協力企業・団体との面談設定等）。 ・ 各種情報収集、情報発信。 	 <p>ヒアリングの様子</p>

【※1】フレイル予防と社会課題

フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態を指す。加齢による身体・精神的な機能の低下は、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症を引き起こす危険がある。フレイル予防には「運動・栄養・社会参加」が大切とされている。

一方、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」で指摘されている通り、今後は医療や介護福祉などの社会保障費が更に膨れ上がることが社会課題の一つとして懸念されている。

高齢者が元気で活力ある状態を維持すること、または健康な状態への回復策に力を入れることは上記社会課題の解決に大きく貢献する。

フレイル予防カートと実証実験について

(1) フレイル予防カートについて

高齢になると体力の低下や筋力の衰えにより、日常の外出や買い物に不便を感じるが増える。対策として、杖やシルバーカーなどの補助具の使用が考えられるが、補助具への心理的抵抗感から使用をためらい、外出の頻度、範囲が減少、結果的にフレイルが進行するというケースが、高齢者へのインタビュー調査により明らかになった。

これに対し、「フレイル予防カート」を開発、提供し、積極的な外出、歩行を促進することで、高齢者の健康と自立した生活の維持をはかることを目的とする。

【製品のコンセプト・特徴】

補助具感のない見た目と、様々な場面での便利さにより、手押しカートを衰えてから使う物ではなく、衰える前から健康促進のために使用するものに変える。

前押しと横押しを切替え可能であり、横押し時はコンパクトで小回りが利き、前押し時は足腰を支え、背筋を伸ばして歩くことが可能である。

お店までの道のり



形状
切替



エスカレーター



バス・電車

広い店舗内の移動

様々な場面での便利さで外出を促進



正しい姿勢で歩けるフレーム構造

(2) 実証実験の詳細説明

①実証実験を行う目的

製品のコンセプト（見た目、利便性）について、試作カートを用いて評価を行う。

②実証実験の具体的な内容と被験者

一般被験者の方に実際の店舗で普段の買い物（テナントや食品売り場買い回り、エスカレーター、エレベータ使用など）を体験いただく。被験者募集は事前に実証実施店舗でインタビューを行い、買い物に困りごとを感じている方に協力を依頼。

③協力企業と実施場所・実施の日程

協力 イオンリテール株式会社 場所：イオンモール熱田（実施日 6/3、6/4）

株式会社名古屋三越 場所：名古屋三越・星ヶ丘店（実施日 6/7、6/11）

※時間はいずれも 10:00～16:00